（数学Ⅰ）学習指導案

学級	1年5組（I講座）	教室	213教室	指導者	（省略）
単元	第1章　方程式と不等式			教科書	新編　数学Ⅰ（数研出版）

指導目標	数を実数まで拡張することの意義を理解させ、式の見方を豊かにするとともに、1次不等式及び2次方程式について、その性質や解法の仕方を理解し、活用できるようにさせる。	指導計画	1　式の計算・・・・・・・・・・・・・・・7時間 2　実数・・・・・・・・・・・・・・・・・6時間 3　方程式と不等式・・・・・・・・・・・ 11時間 （本時はその9） 4　補充問題、章末問題・・・・・・・・・4時間

本時の主題	2次方程式の解の公式
前時の課題	問題集『改訂版　クリアー数学Ⅰ＋A』p.21の89・90を解く。
目標	1　平方完成をして2次方程式を解く方法を確認させる。 2　2次方程式の解の公式を導き、その有用性を理解させる。

指導過程		指導内容	時間	指導上の留意点	資料・教具・評価基準等
	導入	前時の課題を解説し、本時の目標を確認する。	5	・課題を事前に板書させておく。	
	展開	1　例　$x^2+8x+9=0$　を解かせる。	5	・平方完成すると既習の例29に帰着することに気付かせる。	＜知識・理解＞
		2　2次方程式 $ax^2+bx+c=0$　の解の公式を導く。	10	・式変形の考え方に十分留意しながら導く。.	＜数学的な見方や考え方＞
		3　例題　2次方程式 (1)　$2x^2+6x+3=0$ (2)　$2x^2+5x-3=0$ を解かせる。	5	・解の公式の有用性に気付かせる。	＜表現・処理＞
		4　練習63を解かせる。	10	・机間指導をして理解度を確認する。 ・指名して板書させる。	＜関心・意欲・態度＞
		5　応用例題6「2次方程式 $2x^2+mx-m^2=0$　が1を解に持つとき、定数 m の値を求めよ。」を解説する。	10	・方程式の解の意味を確認させる。	
	整理	1　本時のまとめをする。 2　次時の予告をする。	5	・本時の内容が理解できたかを確認させる。 ・課題を確認させる。	

次時の課題	教科書p.46～p.47の練習64・65と『改訂版　クリアー数学Ⅰ＋A』の91・92を解く。
備考	普通科　生徒数　20名　（男子11名、女子9名）